

2022年8月10日

クレディ・アグリコル生命保険株式会社

2022年度第1四半期報告

2022年度第1四半期決算サマリー

2022年度第1四半期は、保有契約高は対前年度末比、個人年金保険が94.4%、団体保険が105.9%、新契約高は対前年同期比、個人年金保険が17.1%、団体保険が92.8%となりました。主要業績については以下のとおりです。

(単位：百万円)

主要業績指標			2022年度第1四半期
契約高	個人年金保険	保有契約高	267,164
		新契約高	1,066
	団体保険	保有契約高	12,552,633
		新契約高	840,173
保険料等収入			10,907
保険金等支払金			24,568
四半期純利益			208
総資産			283,157
基礎利益			2,938
ソルベンシー・マージン比率			527.0%

クレディ・アグリコル生命（代表取締役兼CEO ニコラ・ソウアーチュ）の2022年度第1四半期（2022年4月1日～2022年6月30日）の業績は添付のとおりです。

<目次>

1.	主要業績	…… 1頁
2.	資産運用の実績（一般勘定）	…… 3頁
3.	四半期貸借対照表	…… 6頁
4.	四半期損益計算書	…… 8頁
5.	経常利益等の明細（基礎利益）	……10頁
6.	ソルベンシー・マージン比率	……11頁
7.	特別勘定の状況	……12頁
8.	保険会社及びその子会社等の状況	……12頁

以上

クレディ・アグリコル生命について

2007年に設立されたクレディ・アグリコル生命は、日本におけるバンカシュアランス（銀行窓口における生命保険販売）の専門会社として、お客さまのニーズにお応えする商品・サービスを提供しています。クレディ・アグリコル・グループは、47か国で事業を展開し、総資産約2兆3,236億ユーロ（306兆円）*を有する世界有数の総合金融グループです。保険事業に関しては、フランス最大の保険会社であるクレディ・アグリコル・アシュアランスが、1986年にフランス初のバンカシュアランス専門の生命保険会社を設立し、欧州におけるバンカシュアランスのリーディングポジションを確立いたしました。

* 数値は2021年12月末現在。円換算額は1ユーロ=132.01円で円算出。

本リリースに関する問合せ先 クレディ・アグリコル生命保険株式会社 広報担当 JPN-CAL-kouhou@ca-life.jp
--

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：件、百万円、%)

区 分	2021年度末		2022年度 第1四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数		金 額	
			前年度末比		前年度末比	
個人保険	—	—	—	—	—	—
個人年金保険	59,554	283,002	56,285	94.5	267,164	94.4
団体保険	—	11,854,146	—	—	12,552,633	105.9
団体年金保険	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資（変額個人年金保険については保険料積立金、据置期間付年金契約等については責任準備金）と、年金支払開始後契約の責任準備金の合計です。

・新契約高

(単位：件、百万円、%)

区 分	2021年度 第1四半期累計期間				2022年度 第1四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数		金 額			
		新契約	転換による純増加		前年同期比	前年同期比	新契約	転換による純増加		
個人保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
個人年金保険	1,105	6,226	6,226	—	200	18.1	1,066	17.1	1,066	—
団体保険	—	904,981	904,981	—	—	—	840,173	92.8	840,173	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資です（変額個人年金保険については、基本保険金額）。

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2021年度末	2022年度 第1四半期会計期間末	
			前年度末比
個人保険	—	—	—
個人年金保険	24,963	24,315	97.4
合計	24,963	24,315	97.4
うち医療保障・生前給付保障等	—	—	—

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2021年度 第1四半期累計期間	2022年度 第1四半期累計期間	
			前年同期比
個人保険	—	—	—
個人年金保険	692	140	20.3
合計	692	140	20.3
うち医療保障・生前給付保障等	—	—	—

(注) 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

(1) 資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	2021年度末		2022年度 第1四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現預金・コールローン	22,688	34.3	25,915	36.2
買現先勘定	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—
商品有価証券	—	—	—	—
金銭の信託	30,930	46.8	30,868	43.1
有価証券	1,682	2.5	1,572	2.2
公社債	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
外国証券	1,682	2.5	1,572	2.2
公社債	1,327	2.0	889	1.2
株式等	355	0.5	682	1.0
その他の証券	—	—	—	—
貸付金	—	—	—	—
不動産	13	0.0	12	0.0
繰延税金資産	2,371	3.6	2,492	3.5
その他	8,449	12.8	10,805	15.1
貸倒引当金	—	—	—	—
合計	66,134	100.0	71,668	100.0
うち外貨建資産	9,601	14.5	10,383	14.5

(注) 不動産については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しております。

(2) 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外）

(単位：百万円)

区 分	2021年度末					2022年度 第1四半期会計期間末				
	帳簿価額	時価	差損益		帳簿価額	時価	差損益			
			差益	差損			差益	差損		
満期保有目的の債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
責任準備金対応債券	1,327	1,349	22	29	7	889	883	△ 6	8	15
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他有価証券	355	355	—	—	—	682	682	—	—	—
公社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外国証券	355	355	—	—	—	682	682	—	—	—
公社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株式等	355	355	—	—	—	682	682	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,682	1,704	22	29	7	1,572	1,565	△ 6	8	15
公社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外国証券	1,682	1,704	22	29	7	1,572	1,565	△ 6	8	15
公社債	1,327	1,349	22	29	7	889	883	△ 6	8	15
株式等	355	355	—	—	—	682	682	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでおります。

市場価格のない株式等および組合等の帳簿価額については、該当する有価証券を保有していないため、記載しておりません。

(3) 金銭の信託の時価情報

(単位:百万円)

区 分	2021年度末					2022年度 第1四半期会計期間末				
	貸借対照表 計上額	時価	差損益		四半期 貸借対照表 計上額	時価	差損益			
			差益	差損			差益	差損		
金銭の信託	30,930	30,930	△ 687	738	1,426	30,868	30,868	△ 566	1,821	2,388

(注) 差損益には当期の損益に含まれた評価損益を記載しております。

・運用目的の金銭の信託

(単位:百万円)

区 分	2021年度末		2022年度 第1四半期会計期間末	
	貸借対照表 計上額	当期の損益に 含まれた評価損益	四半期 貸借対照表 計上額	当期の損益に 含まれた評価損益
運用目的の金銭の信託	30,930	△ 687	30,868	△ 566

・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託

該当項目がないため、記載しておりません。

3. 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	2021年度末	2022年度	期 別 科 目	2021年度末	2022年度
	要約貸借対照表 (2022年3月31日 現在)	第1四半期会計期間末 (2022年6月30日 現在)		要約貸借対照表 (2022年3月31日 現在)	第1四半期会計期間末 (2022年6月30日 現在)
	金 額	金 額		金 額	金 額
(資産の部)			(負債の部)		
現金及び預貯金	25,583	28,678	保険契約準備金	252,918	236,555
金銭の信託	30,930	30,868	支払備金	3,276	3,565
有価証券	233,619	211,429	責任準備金	248,537	230,737
（うち 外国証券）	(206,490)	(184,700)	契約者配当準備金	1,103	2,252
（うち その他の証券）	(27,129)	(26,729)	代理店借	50	41
有形固定資産	37	34	再保険借	34,032	34,454
無形固定資産	838	830	その他負債	1,860	1,865
再保険貸	3,923	3,613	未払法人税等	400	205
その他資産	1,585	5,208	その他の負債	1,460	1,660
繰延税金資産	2,371	2,492	退職給付引当金	5	5
			価格変動準備金	159	162
			負債の部 合計	289,026	273,084
			(純資産の部)		
			資本金	5,725	5,725
			資本剰余金	5,275	5,275
			資本準備金	5,275	5,275
			利益剰余金	△ 1,136	△ 927
			その他利益剰余金	△ 1,136	△ 927
			繰越利益剰余金	△ 1,136	△ 927
			株主資本合計	9,863	10,072
			純資産の部 合計	9,863	10,072
資産の部 合計	298,890	283,157	負債及び純資産の部 合計	298,890	283,157

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2022年度第1四半期会計期間末

1. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。
- | | |
|------------------------|-----------|
| イ. 当期首現在高 | 1,103 百万円 |
| ロ. 当第1四半期累計期間契約者配当金支払額 | 582 百万円 |
| ハ. 契約者配当準備金繰入額 | 1,731 百万円 |
| ニ. 当第1四半期会計期間末現在高 | 2,252 百万円 |
2. 株主資本の金額の著しい変動

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	株主資本 合計
当期首残高	5,725	5,275	△ 1,136	9,863
当第1四半期会計期間末までの変動額				
四半期純利益	—	—	208	208
当第1四半期会計期間末までの変動額合計	—	—	208	208
当第1四半期会計期間末残高	5,725	5,275	△ 927	10,072

3. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

4. 四半期損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	2021年度 第1四半期累計期間 2021年4月1日から 2021年6月30日まで	2022年度 第1四半期累計期間 2022年4月1日から 2022年6月30日まで
		金 額	金 額
経 常 収 益		18,227	28,795
保険料等収入		14,727	10,907
（うち 保険料）		(12,461)	(8,261)
（うち 再保険収入）		(2,265)	(2,645)
資産運用収益		2,756	85
（うち 利息及び配当金等収入）		(14)	(11)
（うち 金銭の信託運用益）		(136)	(-)
（うち 有価証券売却益）		(12)	(5)
（うち 有価証券償還益）		(1)	(-)
（うち 金融派生商品収益）		(1)	(13)
（うち 特別勘定資産運用益）		(2,589)	(55)
その他経常収益		744	17,801
経 常 費 用		16,800	26,763
保険金等支払金		15,445	24,568
（うち 保険金）		(1,157)	(1,060)
（うち 年金）		(22)	(26)
（うち 給付金）		(2,867)	(2,653)
（うち 解約返戻金）		(6,118)	(16,862)
（うち その他返戻金）		(29)	(3)
（うち 再保険料）		(5,250)	(3,961)
責任準備金等繰入額		-	288
支払備金繰入額		-	288
資産運用費用		131	657
（うち 支払利息）		(-)	(5)
（うち 金銭の信託運用損）		(-)	(506)
（うち 有価証券売却損）		(-)	(3)
（うち 為替差損）		(131)	(142)
事業費		1,078	1,172
その他経常費用		145	75
経 常 利 益		1,427	2,031
特 別 損 失		3	3
価格変動準備金繰入額		3	3
契約者配当準備金繰入額		1,145	1,731
税引前四半期純利益		278	297
法人税及び住民税		76	210
法人税等調整額		4	△ 121
法人税等合計		80	89
四半期純利益		197	208

注記事項

(四半期損益計算書関係)

2022年度第1四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純利益は1,819円80銭、なお、潜在株式が無い場合、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は算出しておりません。
2. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

(単位：百万円)

	2021年度 第1四半期累計期間	2022年度 第1四半期累計期間
基礎利益 A	1,716	2,938
キャピタル収益	150	49
金銭の信託運用益	136	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	12	5
金融派生商品収益	1	13
為替差益	—	—
その他キャピタル収益	—	31
キャピタル費用	7	510
金銭の信託運用損	—	506
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	—	3
有価証券評価損	—	—
金融派生商品費用	—	—
為替差損	131	142
その他キャピタル費用	△ 124	△ 142
キャピタル損益 B	143	△ 460
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	1,859	2,478
臨時収益	—	—
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	—	—
その他臨時収益	—	—
臨時費用	432	446
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	432	446
個別貸倒引当金繰入額	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△ 432	△ 446
経常利益 A + B + C	1,427	2,031

- (注) 1. 2021年度第1四半期累計期間においては、次の金額を「キャピタル損益」に含めず、「基礎利益」に含めて記載しております。
外貨建責任準備金繰入額に含まれる為替差損益に対応する外貨建資産の為替差損益 △128百万円
2. 2021年度第1四半期累計期間においては、次の金額を「基礎利益」に含めず、「キャピタル損益」に含めて記載しております。
マーケット・ヴァリュアー・アジャストメントの仕組みに起因する解約返戻金額変動の影響に相当する額 △4百万円
3. 2022年度第1四半期累計期間においては、次の金額を「キャピタル損益」に含めず、「基礎利益」に含めて記載しております。
外貨建責任準備金繰入額に含まれる為替差損益に対応する外貨建資産の為替差損益 △145百万円
4. 2022年度第1四半期累計期間においては、次の金額を「基礎利益」に含めず、「キャピタル損益」に含めて記載しております。
マーケット・ヴァリュアー・アジャストメントの仕組みに起因する解約返戻金額変動の影響に相当する額 27百万円

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2021年度末	2022年度 第1四半期会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	19,099	19,734
資本金等	9,863	10,072
価格変動準備金	159	162
危険準備金	6,827	7,274
一般貸倒引当金	—	—
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	—	—
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	1,248	1,225
負債性資本調達手段等	1,000	1,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
持込資本金等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
リスクの合計額		
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	7,023	7,488
保険リスク相当額 R1	4,187	4,479
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	2,516	2,676
予定利率リスク相当額 R2	0	0
最低保証リスク相当額 R7	0	0
資産運用リスク相当額 R3	1,070	1,107
経営管理リスク相当額 R4	233	247
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)}$	543.8%	527.0%

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。
2. 「最低保証リスク相当額 R7」は、標準的方式にて算出しております。

7. 特別勘定の状況

(1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	2021年度末	2022年度	
		第1四半期会計期間末	
個人変額保険	—	—	
個人変額年金保険	235,968	213,020	
団体年金保険	—	—	
特別勘定計	235,968	213,020	

(2) 保有契約高

- ・個人変額保険

該当項目がないため、記載しておりません。

- ・個人変額年金保険

(単位：件、百万円)

区 分	2021年度末		2022年度	
			第1四半期会計期間末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額年金保険	57,547	232,776	53,689	211,485
合計	57,547	232,776	53,689	211,485

8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当項目がないため、記載しておりません。